

トラック3

キャラクター感：前回はきつくあたりすぎたことを反省し、少し歩み寄るが

結局（モブ）人間に騙され、どうでもよくなったような感じに

プレイ内容：相互オナニー、エロ本媚び台詞棒読み

ト書き指示が無いところは、若干の気だるさを感じさせるような印象でお願いします。

トラック後半にあるエロマンガの台詞は全て棒読みでお願いします。

【位置：中 距離：中】

（少し様子を伺う感じで）

……ども。

はい、セシリアです。

今日伺うこと、連絡が行っていたはずですが……。

（……まで）

（落ち着いたトーンでやわらかく）

……。

ふう、大丈夫そうですね。

身だしなみが整えられて、準備してたこと、伝わります。

先日はいかにも寝起きって顔でしたし。

お兄さんが連絡を確認されていなかったとはいえ、

私も早とちりだったと反省しています。

もう少し、時間を取ってから搾精に至るべきでした。

（……まで）

（少しゆっくり）

なので……。

本日は、お兄さんのお部屋、お邪魔したいのですが、よろしいでしょうか……？

（……まで）

……ん。

ありがとうございます。

では、お邪魔します。

【位置：やや右】

（少し声量を抑えて）

靴はこちらに……。
はい、助かります。

(いっしょに)

SE:廊下を歩く音

【位置：中(実際には後ろを想定)】

んつと……。

ふう。

中、あたたかいです……。

この国は少し寒いので、身体に合うまでに時間がかかりそうです。

ほら、お兄さん、サキユバスのこと、知ってるんですよ？

ならご存知かとは思いますが、私達は普段薄着で過ごしていますので、
こんなに着込むことになることはほとんど無いんです。

SE:主人公の部屋に入る音

【位置：やや左】

んつ……。

ここがお兄さんのお部屋でしょうか。

へえ。綺麗にされてるんですね。

少し意外です。

【距離：やや近】

（独り言のように、会話というよりは場所を示すため）
デスクにコンピュータ……2人分ほどのベッド。
それから、背の低いソファとそのテーブル。

（「」まで）

なるほど、少しだけですが、お兄さんのことを知れたような気がします。

（ゆっくり様子を伺う感じで）

あの、こちらのソファ。使ってもいいでしょうか……？
ここに来るまでに少々、疲労が溜まってしまいました。

（「」まで）

【距離：やや近↓近 移動しながら】

（暖かく、ほっと）

ありがとうございます。
では、遠慮なく。

（「」まで）

【移動完了（位置：やや左 距離：近）】

（気持ちよさで用件を忘れ、一人で沈んでいくように）

ふう……。

これ、気持ちいいですね。

中がふかふかながらも少し硬く、優しく包まれているような気がします。
まるで身体が温まるような感じで……。

（「」まで）

【位置：中】

（少しでも照れように居心地が悪そうな感じで）

……ん。

お兄さん、これ。

先日お会いしたとき、迎えまでには少々時間があつたので、買ってきたんです。
疲労回復器具……？えっと、電動マッサージ器……。

あちらの量販店で品定めをしていたところ、年配の方に薦められて。
このスイッチをオンに入れると、先端の丸い部分が振動するみたいです。
それを肩や疲れている部分に当てると、疲労が取れるとか。

私達の関係は、お互いに健康な身体があつてこそですし。

それに、疲弊で精液が出せなくなると、困るのは、私……ですから。

(……まで)

ということで、どうぞ。

是非癒やしに。

(主人公の以外にとまどい、徐々に早口に、静かになつていく)

あの、お兄さん……？

そんなに戸惑つて、どうされたんですか？

……ん、使い方は知つてゐるのかつて。

今申し上げた通りじゃないですか、

疲労箇所に当てて筋肉をほぐすんですね。

説明文にもほら、この通り。

何を、おかしいことを……。

(……まで)

(通常のテンポにもどつて距離を置く)

……というわけではないのでしょうかね。

お兄さん、目が本気ですし……。

(……まで)

はあ……。

どうやら私は騙されたということですか。

せつかく人間に歩み寄ろうとしたというのに……。

まあいいです。

怪我の功名といいますか、お兄さんのこと、固くなってきましたし。

このまま精液びゅっぴゅしましうか。

えと、これを見て固くなったということは、

私がこれで、その、気持ちよくなつてゐる姿を想像して興奮した
という認識で間違いないですか？

【位置:やや左、距離近↓やや近】

はぁ……。

……わかりました。

では、こちらを使用していきます。

ただ、その前に……。

服を脱いだ方が振動が伝わりやすいでしょうから、
下だけ下ろします。

んっ……と。

SE:↓着を脱ぐ

じゃ、お兄さんも、自分をお願いします。

SE:服を脱ぐ

【位置:やや左 距離やや近↓近】

はぁ……。

お兄さん、これ……。

やる気があることは助かりますが……

なんだか踊らされているかのように不快です。

……ん。

じゃ、この後はどうしましょうっ？

先日のように、私が手でシコシコとすればいいですか？

それとも、他に要望があるなら。

お兄さんの気持ちに乗じて、それに従うことにします。

(オウム返しのように主人公の発言をゆっくり飲み込む感じで)

……自分で、手で……。

(いっまづ)

……わかりました。

私も、その方が楽ですから、助かります。

それに、普段どのようにしているかを把握するのも、

今後の搾精効率を上げていくでしょうし。

それじゃ、これ。

当てていきますので、自分でシコシコ、お願いします。

……ん。というか、もう握ってしまっていますし……。

今日のお兄さん、ちよつと気持ち悪いですよ。

えと、それとも、これがいつもの感じなのでしょうか。

ふう……。

まあいいです。

では、このままスイッチを入れてみますので。

シコシコ続けてください。

んつと……。

【位置：中 距離：近】

★ゆっくり、静かに喘いでいく、台詞は呼吸を入れながら。

んつ……

んつ、んつ……

んあつ……

はあ……はあ……

すみません、変な声が。

慣れない感触にびっくりしてしまつて……。

落ち着くと思えますので、どうかお気になさらず。

んつ、んあつ……。

んつ、んつ……

あの……

あまりジロジロ見ないでください。

その。恥ずかしいので。

たしかに、これは、お兄さんの性欲を煽るためですが、
そんなにまじまじと……。

んつ……んあつ……。

私が気持ちよくなる意義なんて無いんですし……

お兄さんはそれ、弄って。はやくぴゅっぴゅしてください……。

はぁ……はぁ……。

……え？

はい、初めてですよ。こんなこと……。

んっ……

私達は精液を糧とするだけで、性欲が強いというわけではありませんし、一人ですること（ひとりですること）に生産性を感じることもありませんから。

んっ、んあっ……。

それに、こんな機械も、私達の国では……。

……ふう。やはり不思議な生き物ですね、人間というのは。
んっ……。

少子化を憂う割には、こんな非生産的な道具を作りだし、果てにはそれに興奮を覚えるお兄さん。
とても歪です……。

んっ……んあっ……。

んっ、んあっ……。

んっ、んあっ……。

はぁ……はぁ……

お兄さんの手つき、すごく淫猥です。

指で作った輪っかに性器をにゅっ。にゅっとするの、まるで本当の性行為をしているようです……。

んっ……んあっ……。

余った指では優しく裏をなぞって……。

なるほど、このようにしたら気持ちが良いんですね。

んっ……。参考になります。

んっ……んあっ……

ただ、こうして見ていると……。

先日は少し、激しさが強かったかとも思いますが、問題なかったでしょうか……？

んっ……んあっ……。

……なら良かったです。

んっ……んあっ……。

んっ……。

んあっ、んっ、んあっ……

はぁ……はぁ……。

擦る速度、早くなってきました。

私の太ももの感触を、思い出したのでしょうか……？
外とは扉1枚で隔たれた場所……。

シコ・シコ・シコ・シコ

と、私の太ももをめがけて、みっともなく腰をへこへことしていたときの……。

あの日のお兄さん、すごく気持ち悪かったですよ。

はぁはぁ……と、ケダモノのように漏らす吐息が、

今のように思い出されます。

……はい？

「かっこいい」って、そんなの、嘘に決まってるじゃないですか。

まさか、本気にしていたんですか？

私はただ……。

今と同じように、一切特別な感情を抱くことなく、ただ淡々と……。

んっ……。

お兄さんの情欲を煽るためだけに、こうしてるんですから……。
勘違い、しないでください。

んっ……んっ、んあっ……

それにしても、こうして目の前に、それが再現できる機会があるというのに……。それを見るだけで自分でするなんて、変わった方ですね。

んっ……んっ、んあっ……。

んっ……

はあ……はあ……

あの、普段はどういったものに、その目線……。向けてるんですか？……。

… …ん。今更恥ずかしがらないでください。

んあっ……。

そんなにまじまじと私を見ながら、弄ってるんですから、毎日のようにシてることなんて、誰にでも検討が付きます。

【位置：やや左 距離：近】

（台詞ではなく臭いを嗅ぐ演技）
すんすん、すんすん……。

（いっ）まぐ

これ、でしょうか。この本……。

【位置：やや左↓左 距離：近↓密着 移動しながら】

えっと……。

【移動完了】

（ゆっくり）

『よわよわサキユバスの御主人様しゅきしゅき甘々えっち』……。

（っ）まぐ

【位置：中 距離：近】

へえ……。

こういうのが好きなんですネ。
なるほど、今日のお兄さん、どこか強気のようにも見えましたが……。納得です。

この後に及んで言い訳ですか……。

何度も言ってる通り、お兄さんの内面なんて気にもならないんですから。無駄な抵抗はやめてください。

私達の鼻は匂いに効くんですから。

全て筒抜けです。

(臭いを嗅ぐ)

すんすん、すんすん。

(ハハハまで)

つい30分ほど前でしようか、しっかりと残っています。

こちらの本に付着した精液の匂い……。

【位置：左 距離：密着】

ん……。

(棒読み、ここは独り言のように、ゆっくり)

「私をご主人さま専用のおまんこオナペットにしてください
いつでもどこでもハメられるおまんこ穴に……。

【位置：中 距離：近】

んっ……。

サキュバスの特性愛情たっぷりおまんこ汁で
このおちんぼ様を迎えられますから……♪」

(ハハハまで)

ふう……。

お兄さんの肩、びくびくと震えていますよ。

お気に入りなんですか？こちらのページ。

何回も読み返された形跡があります。

……そうですか。

当人からすれば違和感しかない文脈なので不思議です。

ところでこれ……。

「おまんこ」や「おちんぼ様」というのは、状況から察するに女性器と男性器のことを指しているのでしょうか……。

……ん。理解しました。

じゃ、私もこれからはお兄さんのそれ。

【位置：左 距離：密着】

（有声音、囁き）

「おちんぼ様」

（「」まで）

【位置：やや左 距離：近】

……と呼んであげます。

その方が効率、いいようですし。

流石に、この女の子のように、甘く誘うような感じは出せませんが……。

そういう性分じゃないので……。

はぁ……。

ま。本日のところは参考資料もありますから、こちらをもとに耳元で囁いてあげます。

お兄さんが妄想していたサキュバスになりきってあげるんですから、引き続きその、おちんぼ様 を気持ちよくしといてください。

【位置：やや左↓左 距離：近↓密着 移動しながら】
次のページ……。

【移動完了】

（無声音、囁き）

「ご主人さまのおちんぼ様、来ました……♪」

おまんこの一番奥……。赤ちゃんのお部屋……。♪

そこです……。そのお部屋におちんぼ様をこつこつ押し当てると
サキュバス愛液がおちんぼ様に絡みつくんです……。♪

どうかそのまま、おまんこオナホに腰を打ち付ける
勇ましい姿を私に見せつけてください……。♪」

(っっ)まで)

【位置：やや左 距離：近】

ふう……。

どういう設定なのでしょう、これ……。

こんな本を読んで私に直面していたと考ええると、
ますます人間のことが信じられなくなります。

ん、ちなみに。

サキュバスの愛液に媚薬効果があるのは、本当ですよ。

先日、お兄さんの耳に触れた時に、頭がのぼせるような感覚がしたと思いますが、

はい、そうです。

もっとも、唾液の媚薬効果は愛液の半分にも満ちませんが。

【位置：左 距離：密着】

(無声音囁き)

「あんっ♡あんッ♡

ちんぼ様ピストン、上手です……。♪

私の中で更に大きくなったおちんぼ様、気持ちいいっ……。♪」

(っっ)まで)

【位置：やや左 距離：近】

でも、お兄さんとは違って。

その効果を受けてもなお、意識を保っているみたいですけどね。
この主人公さんは。

お兄さんは情けなく、真っ白になった視界の中で

ただ一つの感触に向けて、独りよがりには腰をふるばかり……。

この女の子みたいに、相手を気持ちよくすることなんて、できるのでしょうか……。

ん。私には、関係のないことですけど……。

んっ……。んあっ……。

「気持ちいい」ということも、よくわかりませんし……。

んっ……。んあっ……。

んっ……。

はあ……。はあ……。

(独り言のように、ゆっくり、少し声抑えて)

んっ……。精液の臭い、してきました……。

それに、お兄さんの息も、こちらにあたってきます……。

(っ)まづ)

あの、そろそろ、射精、しちゃいますか……？

んっ……。

私もなんだか……。これを当てるとむず痒くなってきたので……。んっ。

早めをお願いします。

それじゃ。続き……。

……。ん。でもこれ、最後のページですかね。

ま、ちようどいいでしょうか。

んっ……。

【位置：左 距離：密着】

「あんっ♡あんっ♡

イっちゃいます……。っ♡ご主人様っ♡

どうかそのまま、私のおまんこに、

ご主人様の強くて立派なおまんこをくださいっ♡

サキユバスとろとろおまんこに、人間様ミルクっ♡
大量授精で異種族懷妊させてくださいっ♡」

(一旦距離を置く)

……ん。でますか？

はい、どうぞ、だしちゃってください。

「あーイっちゃう、イっちゃう……っ♡

おまんこ締め付けて絶対に離しませんからっ♡

あーっ、あーっ、

イきますっ、あーっ

はいっお願いしますっ、くださいっ、子宮に……っ

びゅーっ、びゅーっ、びゅーっ

おくまでもっと、びゅーっ、びゅーっ

しあわせ妊娠確定感謝ですっ♡」

【位置 やや左 距離近】

ん……。漫画、終わってしまいました。

それに、お兄さんも、えっと。びゅーっびゅーっ。してます。

私の太ももに……。

(精液を舐め取る台詞ではなく水音です)

ふう。

んちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、えろ、えろ……。

んっ。

前回と同じで、やっぱり粘り気がすごいです、人間の精液。

ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ。

ふう。

全部飲みました。

(一息呑んでから)

……これ、変な漫画でしたね……。

でも、少し興味ぶかかったです。

私には知らない感情が多くて、それに、人間がどのようにサキユバスを捉えてるか、視覚的にも分かりやすいですし。

……あの、こちらの本、貸してもらえませんか？

持ち帰って、もう少し読んでみたいです。

……ん。ありがとうございます。

それじゃ、また来たときに、返しますので。

よろしくお願いします。

(小声、独り言)

ふう。なんだか、下腹部が締め付けられるのはなんだろう……。